

第2回門真市立市民公益活動支援センター  
指定管理者候補者選定委員会会議録

1. 開催日時 平成27年9月9日（水）午後2時30分から午後4時15分まで
2. 開催場所 門真市役所別館3階 第3会議室
3. 出席者 （委員）直田委員長、土山副委員長、三浦委員、井出委員、森本委員  
（事務局）小野地域活動課長、文能地域活動課課長補佐、  
脊戸地域活動課主査、寶來地域活動課係員
4. 内容 開会、審査方法説明、プレゼンテーション審査、休憩（集計）  
審査結果の報告、総合評価、閉会
5. 傍聴定員 ー（非公開のため）
6. 担当部署 （担当課名）市民生活部 地域活動課  
（電話）06-6902-6034（直通）

7. 会議録

※ 特定非営利活動法人あいまち門真ステーションを「あいまち」、みんなのかどま協議会を「みんなのかどま」と表記いたします。

**【事務局】**

お待たせいたしました。

ただ今から第2回門真市立市民公益活動支援センター指定管理者候補者選定委員会を開催いたします。

私は、司会進行をさせていただきます地域活動課長の小野でございます。よろしくお願いたします。

それでは直田委員長進行のほどよろしくお願いたします。

**【委員長】**

お忙しいなか、第2回選定委員会にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

前回の書類審査に続きまして、今日は応募団体によりますプレゼンテーションと質疑応答に対する審査を行いますので、事務局から、まずは審査全体の流れ、採点の方法等についてご説明をお願いします。

### 【事務局】

先に、本日、お手元に配付させていただいております資料につきましてご確認をお願いいたします。まず、本日の次第、各委員のお名前を記入いたしました第2次審査評価個表、資料1「2次審査予定表」、資料2「第1次審査結果報告」の以上4点でございます。揃っておりますでしょうか。揃っておられるようですので、次に移らせて頂きます。プレゼンテーション審査につきましては、申請書の提出順に、特定非営利活動法人あいまち門真ステーション、みんなのかどま協議会の順に行っていただきます。

入室後、5分間を準備時間といたしまして、その後10分間のプレゼンテーションを行います。これが終わりましたら、委員の皆様と申請団体との質疑応答を30分間行っていただきます。これが終わりましたら、退室後速やかに次の団体に入室していただきその後は同じ流れで審査を頂くという運びになります。

2団体の審査が終わりましたら、お手元でございます第2次審査評価個表により採点していただくわけですが、配点はプレゼンテーション・質疑応答を総合しまして100点満点で評価をご記入いただきます。記入が済みましたら個表を回収、集計の後、1次審査結果と2次審査結果を提示させて頂き、総合得点で指定管理者候補者を決定いただくという流れでお願いしたいと存じます。以上でございます。

### 【委員長】

はい、ありがとうございます。それでは準備ができ次第プレゼンテーション審査を開始したいと思います。プレゼンテーションの進行は事務局のほうでお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 【事務局】

まもなく、特定非営利活動法人あいまち門真ステーションさんによりますプレゼンテーションを行っていただきます。

審査の前に事務局より、2点確認をさせていただきます。

貴団体の役員等に本市の市長、議員が加わっていませんか、ご返答ください。

### 【あいまち】

はい。ございません。

**【事務局】**

次に、貴団体の構成員に暴力団員または暴力団員と密接な関係を有するものは、いませんでしょうか。

**【あいまち】**

はい。ございません。

**【事務局】**

ありがとうございます。なおプレゼンテーションで発言された内容は、貴団体が今後、施設管理をしていただくにあたって、原則として拘束されるものとなりますので申し添えます。

プレゼンテーション終了後、提出書類やプレゼンテーションに対する委員からの質問に答えていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

**【あいまち】**

はい、分かりました。

**【事務局】**

それではプレゼンテーションを始めて下さい。

**【あいまち】**

**【事務局】**

お疲れ様でございました。これで特定非営利活動法人あいまち門真ステーションのプレゼンテーションを終了させていただきます。それでは、質疑応答に入らせていただきます。よろしくお願いいたします。

**【委員】**

質問させていただきたいと思います。プレゼンありがとうございました。いろいろ

事業計画を立てていただいておりますが、その事業計画どおりにいかなかったとき、そうならないようには努力していただけることは当然だと思いますが、そうなったときにどう対応されようとしているのか。逆の場合は還元があるのか、どのように考えていらっしゃるか、お聞かせいただけますか。

【あいまち】

まず、うまくいかなかったときというのは考えないようにしております。成功すべくやはり目標を達成するということで頑張っております。頑張るという言葉でなくて、あいまち独自で考えるのではなくて、市民を巻き込んだ声を聞きながら、やっていきたいと思っております。

【委員】

それは上回ったときのことでしょうか。

【あいまち】

これはそう望むべきでしてね。そうすべく日々続けるしかございません。はい。

【委員】

上回ったときは、追加でイベントをやっていただけるとか、そういったことも、期待していいのでしょうか。

【あいまち】

もちろんそれは考えております。それよりも上回ったときというよりも必要に応じて求めが市民からあれば、また世の中が変わってきたという時には、それに対応するのが、民間の我々でして、それはもう市と相談しながらやっていきます。

【委員】

市民協働の課題の関係ですけれども、全国的に見てどういう市民協働の課題があるというふうにお考えなのかが1つ。

もう1つが、門真市の場合はどういう市民的協働の課題があるというふうに見てい

るか。その2点を教えてください。

【あいまち】

ここでは、口幅ったいことにはなるかもわかりませんが、協働については、進んでおりません。というよりも、協働を理解するというところだと思っております。

【委員】

それは全国の場合ですか。

【あいまち】

あ、全国の場合ですか。全国の場合は 知識の上で、すぐにと言えませんが、結構言葉としては広がっていると思いますが、実績として進んでいる、進まないについてはちょっと私認知できておりません。

【委員】

それは門真市の場合ですか

【あいまち】

門真市の場合はこれからです。5年ほど前に、協働という言葉があがりましたが、もう素直な私の気持ちですが進んでおりません。これからです。

【委員】

はい わかりました。

【委員】

私から一点。今回の委託の中でも12番の項目で中間支援組織協働コーディネート機能というところがあって、一定この事業計画書にも書いていただいているんですけども、この部分については従来からもそうですが、今後についてはより市としては非常に重要な部分であると思います。

今回委託の中でも、管理部門以外でも、非常に重きを置いた部分かなというふうに

考えておりました、そういった意味ではこの地域の団体、そういったものの形成、あるいはそういう団体のスキルアップというふうなことが非常に必要な部分ではあります。そのためには、それを育成するような人材というものが、例えば、あいまちさんという組織の中になければいけないのかなと思います。そういう部分で現状の中であいまちさんの場合は6年という実績があるわけなので、そういったものに対して今現状そういう人材がいる、いていないも含めて現状どうなのか。もし、足りないのであれば、今後それをどうしたいのかというふうなことをちょっと教えていただければと思います。

#### 【あいまち】

はい、ほんとに我々の経営の根幹に関わるところでございまして、あいまちの受け皿というのは本当に広範な人が集まってくるというふうに理解しております。ですから、知らないことはないというぐらい自分達が自ら勉強しなければならないな、といった意味でネットワークをつくる、つくらなければならないところで、門真でじっとしているのではなく、アンテナを張ろうということでKNNと申しましたが、そういった団体との勉強会や情報交換会を重ねながらニュースをとるということを、まずひとつ外部からの研修です。

そして、自らもいろいろと勉強には出かけておりますが、市の職員も派遣したりしてやっております。それと受けてきた情報というものをどう市民に提供するか。伝えるか。といった意味では、今現在、市がやっておられます。地域会議へのPR、そういう所も兼ねて策を練っておりますが、今のところもっと欲しいなということもございます。

#### 【委員】

先ほどのプレゼンテーションの中でも、色々な資格を持った人材が集まっておられるとか、地域に根ざした人材が集まっておられるとか、プレゼンテーションをいただいたんですけれども、端的に今のお話の中では、まだ現状では、そういった人材については力不足だというふうな認識をいただいているんですかね。

#### 【あいまち】

捉え方としては個々人はすばらしいものをお持ちですので、やはり我々の中でも連携させるというか思いを1つに持っていく、同じ基準で物を見定めるというところにおきましては、月1回2回の役員さんとのミーティングはやっているんですけど、そういった中、もう少しやり方も進め方もいろいろと考えていかねばならないなあと、6年間やってまいりましたが、「6年も」と考えるのか、「6年しか」と考えるのか、これは、難しいことはあるんですが、やっとなごたえが感じられてきたなということは自分自身感じております。特に大学さんとの連携という意味では本当に感謝しております。

**【委員】**

はい、ありがとうございました。

**【委員】**

どうもプレゼンテーションありがとうございました。まず1つお伺いさせていただきます。あいまち門真ステーションさんがこの間運用を担ってきて、どれぐらい市民活動支援をできたかその実績を教えてください、数字でなくても構いません。

**【あいまち】**

具体的なことでもいいんでしょうか。

**【委員】**

どうぞ、これが運営してきた実績だと思われることをお話してください。

**【あいまち】**

身近な事例から申し上げます。中間支援という立場ですので、何が中間かよく分かりませんが、やはり困っていることがあれば、そこを何か応援したいなという思いでやっております。例えば、今でしたら、摂南大学さんにありますホッケー部と連携してそのホッケーを門真に持ってくる。そして、門真にある総合型地域スポーツクラブはすねクラブがあるんですが、そこの運営に供したいなのことも今一つやりかけております。

そしてまた、門真の地域会議を、すすめておられますが、そういった地域会議につきましても、先ほどちょっと絵にもございましたが、五月田校区でHUGという避難所運営ゲームというのがあるんですが、これも摂南大学の理工学部の先生に協働いただきましてHUGを展開している。市のやっているやり方と、ちょっと我々がやっている地域会議のおこし方も時間をかけてできますので、HUGを1つのキーワードとして、今現在、一つの小学校区を攻め落としました。そして、隣の小学校区、そこも今手を挙げてくれますので、今年度そのHUGをやります。

そして、中学校区としてまとめて地域会議に持って、きたいというなことは考えています。これは、身近な2つです。

### 【委員】

それはどんな市民活動が支援されたと言えるんでしょうか。今の話はですね摂南大学さんとの連携についてお話いただいたと思うんですけど、それがどんな市民活動を支えることになったとお考えですか。

### 【あいまち】

総合型地域スポーツクラブのはすねクラブでございますが、やはり我々と同じNPOでして、苦しい生活事情がございます。収入の面、そして経営の面では非常に苦勞しておられます。

そういったところを少しでも市民活動と言いますか、まあクラブのメンバーを増やす。そして、経営を少しでも役立てたいということと、門真に人が集まってくる賑わいづくりになるかなという思いでやっております。

それから、もう一つの地域会議の件ですが、これも、「やれ」では集まりませんので、やっぱり隣の小学校区といいましてもあまりなじみがない、そこは融合させようと思ひましてだれもが大事な自分の命、身を守ることが頭に浮かびまして、HUGを取り入れて、進めようとしておるところです。

### 【委員】

ありがとうございます。すみません、それではもう一点。

現在ですね、今個別にどのような市民活動を支援してこられたかという実績をお伺



いしました。今後どんな形で市民活動を支援していけるというふうにお考えなのか。その見込みについて、今、されていることの事例をお伺いしましたけれども、おそらくそうしたケアはですね、すべての市民活動さんにはできないのかなと思っているんですが、今後市民活動をどのように支援していけるというふうにお考えになっておられますか。

#### 【あいまち】

常々思っておりますことは、やはり市民の方が持つておられるシーズまたはニーズ、そういったやはり感度を上げていきたいなど。それを生かしていきたいと思っております。個々、いろいろと団体さんが悩みを持つておられますので、やはりそういった方がセンターに集まっていただいて、愚痴を言いながら、ともに考えられるような、そんなセンターづくりを目指します。

#### 【委員】

ありがとうございました。最後に一点。そのプレゼンテーションの中で、今のお話にもかかわると思いますが、開かれた施設になるためにわかりやすい方法でPRしていくことが大事というふうにおっしゃっておられましたが、具体的にはどういうふうにされて行かれるご予定でしょうか。

#### 【あいまち】

今6年目が長いかわかりませんが、せつかく自分らの思いでホームページを立ち上げている。

その中身についても、自分らが言いたいことを知りたいことを一生懸命発信しているつもりやったんですが、結果的に見てみますと反省なんですけれども、相手側が知りたい情報を発信できていなかったというのが今の現状です。そのへんは変えようということで、今、大阪電気通信大学、そして摂南大学、大阪国際大学、この3大学の学生さんをちょっとチョイスしまして、そのホームページの見直しを、予算がまだわかりませんので、予算がわかりましたら、市と相談しながら、ホームページの見直しをしたい。発信のあり方を考えたいというふうにお考えしております。

【委員】

とりあえず、三点お伺いさせていただきますけれど、一つずつ順番にいきます。端的に答えていただいたら結構です。センターのクライアント、顧客は誰なのかというのをどうお考えでしょうか。

【あいまち】

市民です。

【委員】

もう少し何かちょっと抽象的すぎて。

【あいまち】

悩める方が来ることができるということでしょうか。

【委員】

悩みというには色々幅広いですから、心の悩みとか就業上の悩みとか、進学上とか、生活の悩みとかいろいろおありだと思いますが、もうちょっと絞って、どんな感じですか。

【あいまち】

何でも話ができるな。聞いてよ。と言ってもらえるような、また振り返ったら、行って良かったな。だけです。

【委員】

分かりました。それじゃあ2つ目ですけど、公益活動センターに限らず、市民活動NPOの活動というのは、これからは地域とすごく繋がっていかないとうまくいかないだろうというふうを考えられますし、そういう動きがよくあちこちで出てきていると思うんですよね。

地域といっても自治会であったり、そういういろいろな団体ですよね、そういうことについてどういうふうにお考えなんですか。具体的にこういうことをして繋がって

いきたいという実績ないしこれからの予定をお願いします。

#### 【あいまち】

ボランティアポイントが10月1日から始まるわけなんですけど、その権利を利用するというのはおかしいですが、昔地域通貨の話を見せていただいたんですが、そのときも、門真の全自治会を訪問させてもらったという経験があります。

今回ももう一度振り返る。また、反省するという意味から、全自治会をまわってこのボランティアポイント制度についてのわかりやすい説明会をしたいなというふうに考えております。そしてニーズを拾いあげて、いかに自分らの公益活動支援センターとしての仕事に結び付けていくか、市民の声を聞くといういい機会にしたいと考えております。

#### 【委員】

はい、ありがとうございます。それではもう1つですけども、こういう市民活動というのはなぜするかというと地域にいろんな課題があるからですよ。ということは、逆にその地域の課題をそちら様はどういうふうにお考えなのか。

例えば、門真市の課題というのは、どんなことか。この周辺でも結構いろいろ事件など起こっているようなご時勢ですから、いろいろな課題はあって欲しくないですが、多分あると思うんですけど、それについてこういう事が門真の問題だということでお考えというのが何点かあれば教えてください。

#### 【あいまち】

山ほどあるんですが、それを終わらすわけでもいけませんから、まず、一番気がかりのことだけ申し上げますと、門真の伝統文化というものをぜひ見直してほしいし、真剣に門真市にも取り上げてもらいたい。

例えば、我々は一番大事なものは何か、門真はレンコンというのがあります。パナソニックもありましたが、まずレンコンという土着のものから申し上げます。レンコンレンコンということを皆言うわけですが、レンコンをほんとうに守れているのか。レンコンの畑は昔、ずっと見渡す限りレンコン畑だったが、今ぼつぼつという中で誰が守るんだらうということが一番僕不安に思うところです。

そこで、提案をつねづね個人的にしているんですが、岐阜の長良川の鵜匠と同じで守れる人をつくらないといけない。というように私は申しております。いわゆる鵜匠のような行政が守って、レンコンを守るというような形の文化をつくっていかないと、そのうちに、レンコン堀えらい、しんどい、というなかで、年間稼げる額は、新入社員ぐらいしかないというようなことでしたら伝統は続かない。それよりも、売ったほうが何億というカネになる。そういうことでいいのか。そこはやはり私は一つだけ強く訴えたい。また、自分自身が門真の土着民としての思いです。

**【委員】**

ありがとうございました。

では、そういうレンコンの保全とか、活性化をされるNPOがあれば応援されるわけですか。

**【あいまち】**

もちろんその通りです。

**【委員】**

はい。ありがとうございました。

**【委員】**

すいません、追加でお願いします。

市民に聞いてニーズを拾い上げて、対応しますという姿勢が見えて非常に良いことだと思いますが、ボランティアポイント制度をスタートするに当たり、各自治会をまわられるということですが、それでニーズがわかるのかと懸念します。ある程度、あいまちさんの方で「こういったこと」を投げかけないと救い上げるのも難しいと思いますが、具体的にお考えのことがあったらお聞かせください。

**【あいまち】**

そのへんにつきましては、5年前に始めた地域通貨、例え話ですけれど、ずっと回ったときに「そんなもんでできるかい」、「やめとけ」と言われました。絶対に成功は

あり得ない。と言われました。で、僕が答えたのは、そんなことありません。絶対成功します。なんで成功するんだ。という質問に対して、私がやるからだと答えました。あきらめない。それが私の信念です。

今回のボランティアポイントも地域通貨をやっておりまして、できなかった部分を、このポイント制度をもって上書きして行って、門真に優しさ、思いやり、そういったことが言い切れるような門真にちょっとでも変えたい、という門真を愛する私です。

#### 【委員】

すいません。先ほどレンコンの話がありましたけれども、それを市民的協働で具体的に解決を図るという計画はないんですか。

#### 【あいまち】

計画はございません。やはり盛り上げていかないとと思います。やはり、市民意識、そして、もう既にそういうことを思っている方、やろうとしている方が何名かおられます。そういった方を盛り上げていながら、横で支えるのが我々だと思ひまして旗振りをして1つにこだわるということではなくて、市民活動として盛り上げていきたいと思っております。

#### 【委員】

同じくレンコンの件で、これを盛り上げていくために行政にもお願いしたいというふうな言い方があったのかなと思ったんですけども、先生方ご指摘されているように、そういう団体さんの方でそういったものをしっかりと盛り上げていくというふうな、意思表示を今されているかなと思うんですけど、本来的にはそういう意味ですよ。

行政にがんばって欲しいというふうな言い方に聞こえたんですけども。

#### 【あいまち】

その思いも入っております。例えば、先ほどの鵜匠の話をしたんですが、やはり農林水産省の職員という立場があります。そうしますと、門真で守る伝統文化について准職員でもできんかな。

そして、守るという意思を示していただいて、市も伝統文化を大事にしようとして

るんだと、市民も頼みますというような感じのお互い様、いわゆる協働という立場というふうに思います。

**【委員】**

ありがとうございます。もう一点お伺いしたいんですが、もし、今回指定管理に残念ながら落選であった場合、どのような活動をしていかれようとお考えなのか。あるいはそうではないのかということをお教えください

**【あいまち】**

落ちることはあり得ないと思っているんですけども、最悪はそうなるかもわかりません。そうなったときに、変な意味、もう縮小しかありません。まず、給料は支払えませんが、次の3年に、最後に挙げておりますように、今度は自立に向けて、事業を展開していこうかなということ、やっと見えてきたというんですかね。こんなことをしたら良いんじゃないということが見えてきたというところ。ですから縮小というよりも、解散になるかもわかりませんが、次のできる方に引き継ぐということで、思いは伝えたいと思います。

**【委員】**

すいません。あいまち門真ステーションさんとしての活動という気持ちだったんですけども。

**【あいまち】**

あいまち門真ステーションとしては、やはり今まで言って知らん顔はできませんので、下支えはしていきたいと思います。

**【委員】**

あと数分ありますので、いくつかお願いします。

1つは、ネットワークをお持ちだというのが、あいまち門真ステーションさんの凄く優位性といいますか、というふうに仰っていたと思うんですけども、そのネットワークの、少し具体的なイメージがこっち側で分かるような何かこういうところとネッ

トワークを持っているとか、活動はどんな団体とつながっているとかいうことを教えてください。

#### 【あいまち】

具体的に申し上げますと、今、ボランティアの話しをしておりましたが、それを考えますと、門真にたくさんボランティアをやっている団体、個人が見えるわけなんです。じゃあ、福祉もからめて考えたときに、そういったことを包括的にお互い連絡網があるかとしたら、「おれが、おれが」の世界でして、結局ふたを開けたら何もないというふうになってしまうかなと思います。そういった意味では、既に市の方には申しておるんですが、できたらそういった団体を、包括的にまとめるような門真市として、福祉行政全体を包括できるようなネットワークを作りましょう。というふうに申し上げております。特にボランティアポイントもありますので、これを広めようと思いましたが、そういった各団体がまとまらないとできないという思いがあります。

#### 【委員長】

ありがとうございます。ほかにないですか。

#### 【委員】

門真を知り尽くしているという売り文句でしたので、あえてお尋ねするんですけども、先ほどの課題としてのレンコンが上がりました。レンコン以外で、こういう問題をぜひ解決すべきだということにかかっていますか。

#### 【あいまち】

私は、門真で生まれて67年、この週末に迎えるんですが、自分が育った門真から大きくやはり“変わった”“希薄になっている”という気がします。特に爆発的に人口が伸びた、昭和40年代の中盤かそれ以後なんです。そのとき爆発的に人口が増えて、門真というものがある意味、消えたなという寂しさがございます。だけれども、それから50年としてみますと、もう新しいまちになっているなと感じます。そうしたら、自分が生まれたときよりも、今の現状で、じゃあ、どう門真をつくっていくかということ、原点に立ち返って良いか悪いかの判断じゃなくて、原点に立ち返って次をにら

んだ方が良いかなと思っております。

**【委員】**

細かいことですが、ご提出のあった書類の中で、あいまちさんの、平成26年度の活動計算書というのがあるんですが、指定管理の部分で、マイナス200万円ですか。結構大きなマイナスを出されているのは。財産目録でも同じですけども。これはなぜでしょうか。

**【あいまち】**

お恥ずかしい話ですが、職員が相次いで辞めるという事態になりまして、人件費が大きく重なったという時期がございました。引継ぎということもございましたし、我々がやっております地域通貨の整理にひどく時間がかかった。近畿財務局に提出する書類づくりであったり、その書類をつくるための材料それが間違いないかという金額の確認であったり、整理の作業であったり、そういったことで手間暇がかかった、費用がかかったという平成25年度だったと思います。

**【委員】**

今後はそういうことはないと考えてよろしいでしょうか。

**【あいまち】**

はい、一応昨年度から自動で集計する機械を新しく市の方からいただきましたので、それでもって手間がかからないように、一応今、現在は進めております。

ですから、あの当時でしたら、二人工から三人工ぐらいかかっていた仕事が、今は一人、予算では0.5人工なんですけど、それくらいに近い状態で今現在は推移して思っております。

**【委員長】**

他に何か委員の方からありますか。

大体時間が来ましたので、これで質問は終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。



【あいまち】

ありがとうございました。

【事務局】

それではまもなく、みんなのかどま協議会さんによるプレゼンテーションを行っていただきますが、審査の前に、事務局より2点確認をさせていただきます。

貴団体の役員等に本市の市長、議員が加わっておりませんかご回答をお願いいたします。

【みんなのかどま】

はい、加わっておりません。

【事務局】

ありがとうございます。

次に貴団体の構成員に、暴力団員または暴力団員と密接な関係を有する者はいませんかでしょうか。

【みんなのかどま】

はい。おりません。大丈夫です。

【事務局】

なお、プレゼンテーションで発言された内容は貴団体が今後、施設管理をしていただくに当たって、原則として拘束されるものとなりますので申し添えさせていただきます。

プレゼンテーション終了後、提出書類やプレゼンテーションに対する委員からの質問に答えていただくこととなりますので、よろしく願いをいたします。

それでは、プレゼンテーションを始めて下さい。

【みんなのかどま】

### 【事務局】

お疲れ様でした。これでみんなのかどま協議会のプレゼンテーションを終了させていただきます。それでは質疑応答に入らせていただきます。

### 【委員】

プレゼンありがとうございました。

最初の質問ですが、事業計画を立てていただいています、その中でうまくいくこともあれば、ちょっと期待はずれだなということもあろうかと思えます。計画どおりにいかなかったときにどう対応されようとしているのか、あるいは上まわった時は、何か追加で還元を期待してもいいものなのか。そのあたりをどうお考えか教えてください。

### 【みんなのかどま】

もちろん計画どおりにいかないというのは、もう織り込み済みではございまして、例えばうまくいかなければ、正直に予算の枠内とか大枠の中ではやめていくとは思いますが。あくまで、それぞれのやり方が悪かった。例えば、企画が悪かった、人の集め方が悪かったというところは、幾らでもこれは修正できる場所なんで、見直しは進めていきます。

還元のお話があったと思うんですけども、ここの還元の話については実際に逆に還元していいのかどうかというところは、もう一度相談させてからでないといけないので、そこは年度、年度のところでもう一度協議をさせていただきたく思います。

### 【委員】

ありがとうございました。

市民的協働に関して2点質問させていただきますので、順番に答えていただきたいと思えます。まず、全国的に見た場合に、何が市民的協働の課題というふうにお考えなのかというのが1点目です。

2点目は、門真市の場合には何が市民的協働の課題というふうにお考えなのか。その2点をお願いいたします。

### 【みんなのかどま】

全国的な課題と門真市の課題ということでご質問を受けましたので、一つひとつお答えします。

全国的というところは、私も全国の他市にある同様の活動センターとかも拝見させていただいたりとか、色々情報は伺っているんですけども、とにかく生活のなんていうんですか時間帯が違うというのは大きいと思うんですね。特に門真市さんもそうなんですけども、サラリーマンとしてお務めの方と、自営業系の方と、あるいは引退された方、さまざま時間のとり方が違うというところで、まず垣根が1つできると思います。これが全国的にある課題です。ただ、それが農村地域であればもう少し緩和はされると思うんですけども、全人口的にみればそちらのほうが多いかなと認識しております。

門真市さんとしての課題は、私も「門真もん」とかに行かせてもらったり、いろいろ少ないながらも拝見はさせていただいているんですけども、個人として動いている方は非常に他市と比べて活発だなと印象を受けております。

ただ、それが例えば組織化される。条例の中にも5人以上の団体であれば登録団体できると書いてあるんですけども、それで、5人以上になって、公益性を持っていとなるとそこまでのところで垣根があるか、個人で動けてしまうからいいかな、というのもちょっと感じたりはします。そこさえ超えれば、色々活発なところが出てくるじゃないかなととらえている次第です。

### 【委員】

すみません、今の分はですね、この組織をしていくときのポイントというふうに分けておめたんですが、課題とすればですね、市民的協働が取り上げていってやっていくという課題としてはどういう点があるとお考えですか。

### 【みんなのかどま】

僕も今年の始めから門真の方に住み始めまして、いろいろ見てはいるんですが、先ほど近藤からありましたとおり、活発な市だなという率直な感想は持っているんですね。

その中で、それをやられてる方とやられてない方、また知っている方と知られてい

ない方は、はっきりしてるなという感想があります。ですので、まず僕らが取り組むに当たって、まずやらなければならない事は、情報の浸透をする方法はどうかと伝えていくという活動を、どうしていくべきかというところがまず僕は大切かなと思います。

知っててやっているのと、知らないで全然やらないのと違うと思いますので、その浸透具合はまず課題と考えております。

### 【委員】

先ほどから、協働のコーディネート機能ということにかなり力を入れて、ご説明いただいているかなと思うんですけども、今回の委託の中で施設管理もありますけれども、本質としては、そういった中間支援としての、協働コーディネート機能、これについて非常に重要なポイントかな、あるいは大切に進めていただきたいなとも思いますので、そういった観点から1点だけちょっと質問させていただきます。

やはりそういったことをする場合に、組織側でそのような人材コーディネーターがきちりできる人材がいけない。これがまず基本かなと思うんですけども、先ほど説明の中では、かなりそういった人材が豊富だというふうな印象を受けまして、実態としてはやはり関団協さん、あるいはみんたく団さんの中で、今現状そういった能力が培われた人材というのを、門真のほうに振り分けて、運用されるというふうな認識でよろしいですか。新たに外からという感じではないでしょうか。

### 【みんなのかどま】

私ども、両団体から人が出ていくというのは基本ですが、勿論外から、こういったことができる方は、助けは仰ぐつもりでおります。どちらも活用しますが、今ここにいるメンバーだけでも、実際コーディネーターをやった経験のあるものは複数名おりますので、それで回していくところが基本であります。

### 【委員】

そうすると、団体で3名が常駐体制というのは、仰った方になっていたんですか。そういった分を含めて、その3名常駐で実際のスタッフはやはり相当人数その交代も含めて、いったいどのぐらい人数が関わられる予定、あるいは、例えば不特定で何人

か常にかかっているという状況なんですかね。

**【みんなのかどま】**

特定の者が3、4名はいるような形で、週5日全て入る形はなかなか難しいということは考えております。実際、両団体の運営の時間もありますから、それでも専従に近い形で入れるものはしっかり用意しますけども、それに加えて繁忙期に、先ほど申し上げましたように、アルバイトやボランティアを募集しますので、実際にかかわる人数としては、もう少し増えて10名あるいはスポットで入る方も含めれば20名から30名になる見通しはあります。

**【委員】**

答えにくい質問かもしれませんが、今回の委託料ですね熱意を持ってこういうのを運営しようというような、この委託料の金額っていうのはどういうふうに感じておられます。

**【みんなのかどま】**

金額については、他市の要項にいろいろな状況があると思いますから。なかなか、そこを指定管理料が高い安いと言えないところなので、何とも受け取ることは難しいところであります。

ただ、しいて言うならば本当に余裕を持って、この3名体制というよりはどの時間帯も2名体制で行こうと思うと、もっと工夫が必要かなということは感じさせられました。

**【委員】**

はい、ありがとうございました。

**【委員】**

プレゼンテーションありがとうございました。よろしくお願い申し上げます。

皆さん方の代表のおひとりが門真にお住まいだということですが、今年から住み始められたということでもよろしいですか。そう意味では、ある意味アウェイとまではいかなくとも、ホームではないところで活動を展開されるということはですね、これま

での経験を生かすということはもちろんあるかと思いますが、中間支援組織に大事な信頼感の醸成であるとか、そういうところではある意味ホームではないところからのスタートになることになるかと思いますが。それを超えていくことが必要なんだろうと思うんですが、どのように門真市に根を張っていこうと考えているか、その取っかかりは先ほどスタッフが回りますとお話もありましたが、取っかかりや具体的なイメージがあるんだったらもう少しお話しいただけますか。

### 【みんなのかどま】

ありがとうございます。今、僕が代表をやらせてもらっているわけがそこにありまして、大丈夫です。全然ホームです。門真に住んでいるから、アウェイとかホームとかの考えではなく、基本的に目指すことが一緒であればホームな感覚でこれまでもそういうふうに来てきておりますし、今現在も六甲の方で取り組んでおりますので、一番大事なのは同じ方向を向けるかどうかというところではないでしょうか。ここが大事かと考えておりまして、まず先ほどの近藤の説明にもありましたが、そのコーディネートをする側にまわっていく人材と、管理をする人材とは当然分かれて行くことになりますので、3名が3名そのコーディネートを行うというわけではないですね。当然、業務として実務として中にいる人間と、外に飛び出して行く人間とは、当然別れてくると思います。

ただし、3年間あるんですね。3年間の中で僕1人が回っても難しいと考えておりますので、そのコンセンサスをとるに当たり、コミュニケーションをかなりとらなければならぬと思います。これはスタッフ、メンバーもそうでしょうし、お伺いしてお話をしていく中で、僕はそう簡単に先程、ホーム、アウェイの話もありましたがすんなりいくと考えておりませんので、お答えとすればどれだけ顔を合わせてお話ができるかというところにかかっているかと思います。

### 【委員】

ちょっとはっきりしなかったところがあるので、もう1つお伺いしたいんですが、同じ方向って何ですか、また誰と同じ方向を向いているということですか。

### 【みんなのかどま】

はい、これは僕らも今後受託することになりましたらすぐにお伺いすると思うんですけども、そういう意味では、当然門真市長さんの肝いりの政策と聞いておりますので、まず市の向いている方向と住民側の求めているサービス、また、NPOの方も同サービスがかなりに皆さんばらつきはあると思うんですね。

それをまず、皆さんの話を聞いていくうえで、何処に向かっていったら、いいんであろうというところのコンセンサスがなければ、これを組織として機能しないと僕は、個人的にそう考えております。

僕の感覚でやっていいのであれば、どんどん進めるんですが、それが門真式であるかどうか、ほんとに望まれているかどうかというのは、違うお話かと思っておりますのでそこからお話をしていく必要があるのではないかと、考えております。答えになっておりますでしょうか。

#### 【委員】

最初の話だと、市と同じ方向っていうトーンなのかなと思ったんですが、後半の方では、市民の人と同じ方向をつくっていくというトーンでお話しされていたと思います。

そのどちらのニュアンスなんでしょうか。もう1つは、その方向が違う人とは例えば一緒にやれないということなんでしょうか。

#### 【みんなのかどま】

難しいですね、確かに、すべてが全部同じ方向を向けばいいでしょうし、すぐに向いてくれない方もいらっしゃることは現実に思います。

だからといって、やらないではなくて、だから時間をかけていく必要があると考えているんですね。市民の方と門真市さんが、一致しているとも現状は正直思っておりません。

ただ、僕たちがいる理由ってそこなんですよね。だからこそ僕らが間に入って、先ほど一番初めお話ししたとおり、情報がないんですよ。

だから、知らないからできないのか、知っていて違う方向を向きたいのかは違うと思うんです。まずは、そういうことを伝えていくことから始めたうえで、「違うんですね」とか、「そうだったの」、「じゃあ一緒にやろうよ」という2つの選択は出て

くるかと思えます。

まあ、すんなり行く方は、すんなり情報が通えば進めると思いますが、違うときにこそ対話が必要だなと経験則からはそう感じております。

**【委員】**

はい。時間がそろそろ私の持ち時間がなくなったようなので、同じ方向を向いていればできるというお話でしたので、その方向について少し重ねてお伺いしてみたんだということを確認しておきたいと思えます。ありがとうございました。

**【委員】**

よろしいですか。それでは私から少しお伺いさせてください。とりあえず3つの御質問をいたしますので、それぞれ端的に答えていただいたらいいかと思えます。

まず、1つはこの指定管理対象である市民公益活動支援センターというところですよ。そこの一番のクライアントは、誰なんですか。どうお考えでしょうか。

**【みんなのかどま】**

難しいですね。お金をちょうだいするという意味では、当然門真市さんになるかと思うんですが、市としては当然市民の方だと思えますので、こういう言い方はいいんでしょうか、僕は両方だと考えております。

もともと、門真市様に税金を納めていらしたのは市民の方ですから、純粹に最終的には市民ですね。

私ども市民として考えていますので、それでやらせていただいて、むしろ門真市さんのサービスに合わせていただくということは、当然クライアントは市民になりますよね。

**【委員】**

はい。そうゆうふうにお考えなんですね。関連してお伺いしますが、市民公益活動支援センター設置条例を見ていただくと、一応書いてあることは書いてあるんですが、基本的には市民一般ではないですよ。ターゲットを絞っていますよね。



**【みんなのかどま】**

はい。

**【委員】**

それはともかくとして、次は中間支援というのは一般的な市民活動か、それにいたるまでの動き、あるいはNPO等々を支援するというのが普通です。しかし、最近では地域のいろいろな団体、自治会であるとか社協さんだとか、あるいはもっと他の新しい自治組織だとかとの連携というのは各地で模索されて、これまでは、どちらかといえば対立関係があったものが、むしろ、協働で地域づくりまちづくりに取り組もうという動きが出てきているように思うんです。皆さん方は、門真市の中で地域の諸団体との関係をどういうふうに構築されていこうとお考えなんですか。

**【みんなのかどま】**

どちらかといいますとまずは、一つ一つ地域というよりは公益活動といいますか、地域に絞らない。門真市域でされている活動と結んでいくことがまず先かなとは思っております。

そちらがまず第一にあって、それで余力ができていけばこれは先ほどおっしゃったアウェイとホームでないですけども、ホームではない有利さ、つまり第三者に立てる有利さを使って地域の間に入るということは考えていきたいと思えます。

ただ、あくまでこれも、ちょっといろいろ人数体制とかありますから、うまく余裕が出てしっかりやれるとわかったときに次々とやってきていければ幸いです。

**【委員】**

ありがとうございます。先ほど、地域へ出かけられるんだってことも仰っていたので、もっと積極的に地域の団体と接点をもたれるのかなと思ったんですが、どうなんですか。

**【みんなのかどま】**

そこはもちろん地域との団体といっても今おっしゃったのは自治組織というお話だったので、あえて切り分けたものです。

地域自治組織となると本当に課題がその地域だけになりますので、そこではなくて、地域にあるさまざまな、例えば市内を超える活動も校区単位であれば、もう広いかなと思いますんで、それぐらいのレベルになるところであればどんどん仕掛けていこうかなと思います。

### 【委員】

はい、ありがとうございました。

それではもう1つですけども、いろいろ市民活動団体というにはいろいろ社会の課題を解決していこうと自主的・主体的にやっていこうということが基本ですよ。

ということは、逆にいえばその課題というものをどういうふうに見るかというのがすごく大事なんだと思うんですけどもセンターはちょっと置いてあの最近、この周辺でも、特に寝屋川市などでも、悲惨な事件、事故などが起こりましたよね、ああいうこともありますし、地域課題というのは、とにかくたくさんあると思うんですけどもとりあえず門真市における課題、市民が取り組まなければならない課題とはなんだと思われま。ひとつふたつ例を挙げていただいたらと思いますが。

### 【みんなのかどま】

そうですね、門真市に限定するかどうか難しいんですけども

まあ、やはり先程近藤も申しあげましたように、皆さん生活スタイルがばらばらというのは、門真市に限ったことではなくてやはり何をするには、そこに集まれない人たちが絶対いると思うんですね。

僕らその公益の活動者として、どこまで踏み込むかは難しいのですが、結論としましては、やはり顔の見える関係をつくっていくという基本的なことかもしれませんし、これに超したことは、今の段階で僕にはないと思います。ですので、本当に数を重ねてお話をする回数がイコール信頼関係の回数と考えておりますので、それが私たちが作った体制のなかで、どれだけできるかということですし、NPOだけでも30ありますし小中学校でも14でしたか、いろいろある中でどこまでいけるかという顔の見える関係をいかにつくるかというのが課題かと考えております。

門真市の課題ということになりましたら地形を見てもわかるんですけど。第2京阪で割られたような感じにはなっていると思うんです。

それで京阪沿線とどちらかというところ、学研都市線より、あるいは門真南の方と位置があると思います、そんなにはないように思うんですね。

門真市全体のまとまりでいくと、ちょっと難しいところがあるかなとは私自身は思っていますので、ここを飛び越えるような何かができるというのがまず1つあります。何よりも先ほど申し上げたとおり、人のやはり時間のとり方がまちまちです。実際に町工場を営んでいらっしゃる方も多くですし、農業の方もいらっしゃいますし、そして多くは大阪市内に通っておられる方がいます。

このあたりの穴埋めをするには、やはりそのセンターがありますように、多くの時間帯9時から9時30分ですよね。ずっと共通の人物がいるというところをどう生かせるかというのが1つポイントになってくると思います。

**【委員長】**

はい。有難うございました。

とりあえず一巡しましたが、また、少し時間がありますので。

**【事務局】**

残り9分30秒です。

**【委員長】**

ばらばらですけども、質問させていただきたいと思います。はいどうぞ。

**【委員】**

すいません、今日たくさんプレゼンにおいていただいてうれしいと思うんですが、常駐の予定は今こられている方、どなたになるんですか。

すみません。

はい。わかりました。ありがとうございます。

**【委員長】**

いいですか。ほかに。

**【委員】**

ありがとうございます。先ほど門真市の課題という話がありましたが、お話にあったとおり、高度成長期に非常に大きな人口流入があって、それが、今、平成12年から一貫して減少して一方で世帯数は増加続けているという状況、その意味では、ちょっと前に人口が増えてそれが今の社会課題となっているという、ある意味非常に都市的な課題を持っている、町だというふうに考えております。

そうするとですね、2団体がお持ちの農業と国際関係がないとは申しませんが、テーマ的にはむしろ弱いところなのではないかというふうにも考えられますが、そのあたりはいかがですか。

**【みんなのかどま】**

はい、農業の方を担当させていただいております、みんなの団の方から、まず、農業についてちょっとお答えさせていただきます。「農」というのは入口としてすごく受け入れられやすいところがあります。

市民活動のなんと言えればいいのでしょうか、入り口としてすごく適切なんですね。

それは他市でも補助金をいただいている事業がありまして、そちらでも証明されているとことなんです、いろいろな人が来てくれるというところで、市民活動の切り口としてすごく優れているのではないかと、このように考えております。

**【委員】**

ありがとうございます。

**【みんなのかどま】**

はい。国際の方ですね人口の流入ということで課題があるということなんです、やはり門真市でも海外からの労働者という方がたくさん入ってこられているかと思えます。単身で入ってこられる方もいらっしゃるでしょうし、母子家庭ファミリーで来られている方々は、やはり地域に溶け込んでいくということは1つの大きな課題であるかと思えますので、そういったところで、こちらの協議会の方でも実施していることをいろいろ活かして、門真市でできればというふうに考えております。

以上です。

**【委員】**

ありがとうございます。皆さんがしたいことを門真の課題から拾っていくというのはわかります。ただ恐らく皆さんからまだ見えていない、皆さんの課題とは違う課題に直面している困ってる人やそれをほっとけない人、個人として動いてる人が多いという話がありましたが、そういう皆さんがしたいこととは違う、困りごとのテーマに直面している方にどう寄り添うかということをもし伺えるようでしたら教えてください。

**【みんなのかどま】**

具体策をお答えすればいいんですかね、この場合は。

**【委員】**

テーマ的にはすごく広がっていくと思いますので、むしろ、中間支援組織としてそういう多様なニーズに、2団体がお持ちの得意分野ではなくて、そうではないニーズをお持ちの中間支援のニーズに、どう応えていくかという方針を教えていただければと思います。

**【みんなのかどま】**

確かに得意ではない、いろんな課題があるかと思います。そういった場合に、私どもの持っております、ネットワークを生かしまして他の団体の協力を得て、いろいろな知見を持って、さまざまな課題に取り組んでいきたいというふうには考えております。

**【委員】**

センターが、交通の便でいうと余りよくないところにあると認識してしまして、その部分はまたちょっと大変だと思います。ぜひ、そこは頑張ってくださいたいのと、それで大丈夫ですかということなんですが、今聞かれてもどうしようもないと思うんです。もう1点、これは簡単で難しいことなんですが、コピー機などは指定管理を受ける方がレンタルするということを仕様書に書いてあるんです。皆さんの業務収支計画書ではレンタルのリース代が入っていないんです。

結構な金額になりますので、それがないと収支計画書の全体像が変わってくるかなと思うんですが、そこは大丈夫ですか。もし、今すぐには答えられないということであれば、仕様書の中にはコピー機などの什器は管理者側がリースすることとなっていて、今指定管を受けてるところもリースしておられるんです。

それで、その分の費用大丈夫ですかっていうことを一応念押ししておきたかったということです。すいません失礼しました。

**【委員長】**

すぐ答えられますか。

**【みんなのかどま】**

こちらは調べて回答いたします。コピー機については、たしか継続して使えるというお話を聞いていましたので、ちょっとそのあたりで齟齬があったかもしれません。調べます。

**【委員長】**

はい。後日いただいても、判定は今日してしまいますので。それは結構です。はい。他はよろしいですか。

**【みんなのかどま】**

はい。もちろんそれでリース費等必要であれば、この予算枠内で、しっかり、費目は変わりますけども、調整をさせていただきます。

**【事務局】**

残り 2分45秒です

**【委員長】**

他に何か、よろしいですか、ありますか？いいですよ、はい。

**【委員】**

すみません、ちょっと本筋とは違うかもしれませんが、みんなの未来かいたく団は、去年の11月にできて、今年の7月で8カ月の収支がありますが、数字だけ見ると、活動されてないように見えてしまいます。25万円ぐらいの収入と支出があるだけで、今どんな活動をされているのでしょうか。

**【みんなのかどま】**

余り活動をしてないように見えるというのは、お金自体がそんなに動いてないという部分で、ボランティアはほぼ活動しているのは大体手持ち、手弁当で皆さんやっているということになっていると思います。

多分どういう活動というのは、申込用紙の方に書いてあると思うんですが、直近でいいますと、とりあえず開墾及び農作業ということは日々行っております。

でそうですね、あとURの活動ということをやったり、とれた野菜を販売したりとか、そういうことを収支に充てたりとかいうこともやっております。

そうですね、あとはもうイベントですね。農作業イベントをやったりとか、農作業イベント体験ワークとか、そういうことはやっておりますね。

**【事務局】**

あと58秒です。

**【委員】**

手弁当で皆さん集まってくれるものなののでしょうか。

**【みんなのかどま】**

そのへんが1年半で500人という動員実績として現れていると思います。

**【委員】**

最後に一点だけ予算の関係なんですけれど、人件費で、管理担当要員の予算が、25万円掛ける12カ月掛ける1.8人なんですけれど、3人を専従でまわされるということなんですけれど、大丈夫ですか。

**【みんなのかどま】**

あくまで専従1人以上というふう聞いておりますので、この給与体系でいうところの専従扱い1.8名というところです。そのために運営担当アルバイトという項目を設けてまして、こちらでまかなうという計画をしております。

**【委員】**

アルバイトの給与は最低のぎりぎりところですけど、大丈夫なんですかね。

**【みんなのかどま】**

そこは今日、お渡しました資料にも書いてありますように、900円が最低限でございまして、そこに実際は。うまく積み上げていくなど配慮をするつもりです。

**【事務局】**

これでプレゼンテーションを終わりますが、先ほどの質疑の中にございました、印刷機コピー器のリース契約につきましては、質問をちょうだいしました分の回答の4番で回答させていただいてるんですけども、印刷機につきましては、年間6,268円、コピー機につきましては、月3,000円のリース料が必要ですので事務局のほうから回答させていただいておりますので、もし結果によりましては、またその後、ご検討の方、よろしくお願いいたします

**【みんなのかどま】**

そこを補足するのですが、実は収支計画書の中の最後の項目一般管理費のリース料のところに、ちゃんと反映はしております。

リース料年間でいいますと、四、五ですので、四万五千円で計上しております。はい、想定済みでした、すみません恐れ入ります。

**【事務局】**

どうも有難うございました。

(休憩・集計)



**【委員長】**

集計が終わりましたので再開をいたします。事務局から結果の報告をお願いしたいと思います。

**【事務局】**

それでは、集計結果についてご報告をさせていただきます。集計結果は、第1次審査と第2次審査をあわせた得点をご報告させていただきます。第1位はみんなのかどま協議会で1,093点 第2位は、特定非営利活動法人あいまち門真ステーション1,032点となりました。

**【委員長】**

ありがとうございました。お手元に数字も出ておりますけれど、今日のプレゼンの方が35点差、総合得点が61点差ですか。

これは、点数だけで決まるというものではない総合的に判断して、決めるということです。ということで、こういう結果になってどういうふうにしたいかというご判断をお伺いしたいと思います。えーと順番でよろしいですか。〇〇委員からでいいでしょうか。

**【委員】**

みんなのかどま協議会は、〇〇委員がおっしゃったようにアウェイです。新しい風を吹き込んでくれる気はしますが、本当に門真を考えたときに、やはり門真に住まれて、今まで活動されてきた方の方が頑張ってくれるように思いました。受け答えにしても、みんなのかどま協議会の方がしっかり慣れた感じがして、きれい過ぎて逆に違和感を覚えました。ローテーションでしゃべられてスマートに見えますが、スマート過ぎて機械的な印象でしたので、私自身はあいまち門真ステーションがいいと思いました。

**【委員長】**

〇〇委員はどうですか。

### 【委員】

私の場合は、当初というか審査に入る前は、地元有利だろうと思ってたんですがね。

実際にその審査を一次二次とやってくるなかで、少しがっかりする方があいまちさんに対して多かったんですよね。点数は辛くなっています。今日のプレゼンでいっても、それぞれが言っていますね。今、〇〇委員が言われたように、みんなのかどまの方は、非常にその手なれたあの形ですね。少しいわゆるそのにおいがあるという癖があるような感じはするんですけども。対話能力があります。受け答えをした時にね。

これは僕、非常に大事だというふうに思っていて、毎月これから行政と話し合いをやりながらというふうになっていくんですけども、あいまちの方がこの間も、そういうふうな行政とのやりとりをしてきながらも、あのホームページであったりとか実績を見たときに、どれだけその対話の結果が実践に反映されたのかという不安を思っていました。

今日のこの受け答えもその辺を感じたんです。その点でみんなの門真の方は非常に自分なりの癖がありすぎないかっていう懸念はあったんですけども、対話能力があるので、これからの議論の中で、その辺は改善されていくんじゃないのかというふうに思います。ということで、最終的に私はみんなの門真でいいのではないかと思ったんです。

### 【委員長】

ありがとうございました。それでは〇〇委員はいかがでしょう。

### 【委員】

あいまち門真ステーションさんは、閉塞感があるのかなというふうな印象をずっと持っていました。かといって、みんなのかどま協議会さんについては、やはり国際分野であるとか、農の分野があるとか、そういった得意分野ということで、先生方もおっしゃっていましたが、そこを除けば門真の中でどういうチャレンジをいただけるのかなというところが、プレゼンを聞いても具体的に見えてこないの、そのあたりはどうされるのかなという不安も正直あります。あいまち門真ステーションさんの方は、やはり地域に根ざした顔の見える関係をつくった6年間の実績もありますし、

もともと地域の方です。そのへんの安心感はあるんです。この間の閉塞間も踏まえながら考えると、やはり新しいところに賭けてみるのもいいのかなというふうな判断をしております。

#### 【委員長】

はい、ありがとうございました。それでは、〇〇委員いかがでしょうか。

#### 【委員】

あいまち門真ステーションさんは、この話の中にもありましたとおり、やはり、地域に根付いてやってこられたということ、プレゼンの中でも押してこられるのだろうなと思っていました。けれど、これまで蓄積してきて、ようやく新しい展開ができていくのだというお話があったので、そこのところをどう評価したらいいものかどうかというところが迷いました。ただ、その展開の中で出てきたのが、やはり大学の名前が出てきて、別に大学が悪いということでもなくて、これまでとは違うアプローチ、あるいは、これまでのアプローチを継続していった展開できるかどうかというところについてちょっと不安を感じました。特に伺ったことに対して、なかなか的確なお答えがいただけないなかで、利用者さんともそうなのかなあと正直に思ったところです。また、これは仕方がないことかもしれませんが、「やや行政頼りだよ」というところのスタンスが気になったというところです。

ということですみません、私、面接のところでは、あいまち門真ステーションさんに厳しい点をつけました。ただ一方で、みんなのかどま協議会さんも、今しておられないのですね、いろいろ言えるところはあるだろうというところをどう見るか。

ちょっと残念だったなと思うのが、やはり、上から目線かなというところが少し感じられた気配があって、すみません、印象論なので個々のどこがどうだというふうには言えないのですね、そこが具体的に点数に反映させてはいないんですけども、ただそういう意味ではある意味手馴れているところですね。

スタッフの方が直接地域に行き話をするというところに、少し期待をしていました。一方では不安材料もあって、そこでいう地域というのは、いわゆる支援団体にイコールということではないのかなというところは感じられました。ですので、どれ位根を張っていけるかというところについて少し不安もあります。

そのようなバランスングでですね、みんなのかどま協議会さんのところに点数がきました。総合的にどうなのかというところについて私からは見えてないところがあって、あいまち門真ステーションさんは、ご自身がおっしゃるようなネットワークを既にお持ちで、今後それを活用していけるのかというところ、みんなのかどま協議会さんは、ある意味でホームではないところ、そうでないというお話もありましたけれども、ホームではないところに、少し交通の便が悪いということも余りご存じなかったようでした。そういうところを踏まえて、あいまち門真ステーションさんが本来は強みとして発揮できるはずだったところに食い込んでいけるかどうかということですね、皆さんのご意見を伺って判断につなげられればという風に思いながら採点表を見ていたところでございます。以上です。

#### 【委員】

私自身も非常にこれは迷ったというか悩ましいところがありまして、一つは、中間支援団体の運営を10年間関わってきましたんで、もしかすると、これが変わるとなかなか大変だなというのは、正直あるんですよ。というのは、ひとつに人脈、ネットワークですね。これが一番悩ましいところですが、ただ今日お話を伺って質問も何回かさせていただいたんですけれども、これまで作ってこられたネットワークの内実はもうひとつ見えないんですよ。ですから、どういうネットワークを作ってこられたのかというところは見えないので、そのあたりにある意味で、「6年間かけたにもかかわらず・・・」なのか。

まだまだ時間が足りないということもありますが、もう少し着実な歩みをしていただきたかったなというのが少しあります。それと、地域のニーズ把握等のこともいくつか言っておられましたけれども、ほんとうのニーズを把握されているのかということも少し不安材料であります。

課題として、レンコンを挙げられたのは一つの視点としては面白いんですが、ある意味で「おもしろい」というところにとどまっているのではないかなと感じます。

本当に地域課題が何であるかというご認識は、どちらの団体もそうですけれども、その押さえが弱いなあと思います。もう少し。事例で寝屋川の例を出したのですけれども、もっと深刻な問題というのはたくさんあるはずなんです。

時間的にすぐやらなくてもいいんだけど、中間支援として、どうそれに取り込む

団体を支援するかというところを、もう少しどちらの団体も言っていた良かった。

それは両者とも少し弱いかなという感じがして。この辺は今後の指定管理者の大きな課題ということで、ある意味、逆に行政の方からもっとそこを突っついていただくということも必要なのかもしれないなという気はいたしました。ですので、点数をつけて最終的に、皆さんの点数を合算すると、こういう形になって、僅差だということは何となく納得のいく感じですが、少しまだ未確定なのでどうなるかわからないというところもありますが、そこはそこでやっていただける可能性があるということもかけて、最終総合評価の点数はこんなところかなという感じが私はしたというところがございます。

### 【委員長】

という事でこの点数が全てじゃないですけど、点数の結果でいいんじゃないかなという気がしたところですが、ほかにまた別の意見があれば出していただけますか、いかがでしょうか。

特にございませつか。ということでしたらこの2社の中で、みんなのかどま協議会の方が少し総合得点が高いということで、話の中でもそういうご意見もあったように思いますので、こちらの方を指定管理者候補者ということでさせていただくということによろしゅうございますでしょうか。

はいじゃあ、そういうことにさせていただきます。よろしいですか。

はいそれで、審議を2回にわたってやっていただきましたけども、今後また指定管理ですから、議会等々でいろいろあってこちらを第一優先交渉権利者というふうになるんでしょうかねそういう形でなっておりますけども、その今後の段取りを少し事務局のほうから御説明いただいたらと思っております。

### 【事務局】

本日は大変お忙しい中長時間にわたり誠にありがとうございました。指定管理者選定に際しましては慎重なご審議を賜り、本施設にふさわしい指定管理者の候補者をご選定いただきましたことを心からお礼申し上げます。今後の日程でございますが、9月下旬までに選定通知を団体に送付をさせていただきます。本日選定いただきましたみんなのかどま協議会を指定管理者候補者とする議案を市議会へ提出し、12月議会に

において指定議決後基本協定を締結し、来年4月1日から門真市立市民公益活動支援センターの指定管理者として管理運営を3年にわたって行っていただく予定にしております。なお、12月議会までに候補者に何らかの瑕疵が生じた場合を考えまして、特定非営利活動法人あいまち門真ステーションを次点の候補者とさせていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。ほんとうにありがとうございました。

#### 【委員長】

というところで、指定管理者候補者決定ということでございます。ありがとうございました。他に何かつけ加えるご意見があればお話しいただいても結構ですがよろしいですか。議決されますと、次年度から今の団体（指定管理者）から新しい団体に変わるという事になるわけですが、それに伴う引継ぎだけはきちんとやっていただきたいということは、同団体に対してお願いをしていくということになろうかと思えます。

それでは、門真市立市民公益活動支援センターが、今後、市内での新しい公民協働の拠点となりますことを祈念いたしまして、本委員会を閉会とさせていただきます。皆さんどうもお忙しいところありがとうございました。